全国農地ナビで公開されている農地情報の修正について【改訂版】

全国農業会議所
農地情報公開システム整備事業
推進共同事業体

現在、全国農地ナビにて公開されている農地情報（農地台帳情報および農地地図情報）について、データの修正方法等について以下に記す。

Ⅰ．データの修正が必要なケースについて
A：利用状況調査結果などの項目未入力
B：農地ピン表示のずれ（道路・河川などに表示されている）
C：公表用 CSV と農地地図データの紐付作業における各種エラー

Ⅱ．修正方法等
A：利用状況調査結果などの未入力項目について

No	未入力項目	対応
1	耕作者整理番号	公表用ＣＳＶの「耕作者整理番号」が「０：設定無」、又は未入力の場合は、耕作者整理番号を登録してください。
2	利用状況調査結果	公表用ＣＳＶの「利用状況調査結果」が「０：設定無」、又は未入力の場合は、調査結果を入力してください。(遊休農地ではない農地については、「０：設定無」ではなく「３：遊休農地ではない」を登録してください)
3	利用意向調査結果	公表用ＣＳＶの「利用状況調査結果」が「１：農地法第 32 条 1 項第 1 号」「２：農地法第 32 条 1 項第 2 号」の場合、利用意向調査が終わっている農地については、「利用意向調査結果」について「１～５」のいずれかを登録してください。
4	農地中間管理権	農地中間管理権が設定されている農地で公表用ＣＳＶの「権利設定の内容等（権利の種類）」が「０：設定無」、又は未入力の場合は、「１～２」を登録してください。

※耕作者整理番号について

耕作者整理番号については、データ提供ガイドラインでは「耕作者を分類できる任意の番号また、個人を特定できる番号（住民基本台帳の個人番号、経営所得安定対策の管理コード等）は挿入しないこと」としていますが、公開時に新たな番号へ振り替えて公開します。振替前と振替後の番号については、公開前確認システムで確認できます。

B：農地のピン表示のずれについて

① 道路・河川・水路等に農地ピンが表示されているケース

公表されている農地ピンデータのうち、以下のように道路・河川にピンデータが表示されている場合があります。すでに農地転用されている農地について、農地台帳の現況地目が「農地」であるために起こる場合は、公表用ＣＳＶの現況地目を修正してください。

道路・河川に表示されている農地ピンデータは、固定資産課税台帳との照合において、農地の所在地番の有無の判断だけではなく、現況地目の照合・確認をすることにより確認ができます。

例１）現況地目を合わせる

	大字名称	小字名称	本番	現況地目
固定資産課税台帳や現況	朝日町	東池	283	公衆用道路
公表用 CSV	朝日町	東池	283	畑
公表用 CSV 修正	朝日町	東池	283	公衆用道路

例２）農地台帳データを見直す

	大字名称	小字名称	本番	現況地目
固定資産課税台帳（地番図）	朝日町	東池	343	公衆用道路
公表用 CSV	朝日町	東池	343	畑
公表用 CSV 修正	削除			

② 農地の中心からピンの表示位置がずれているケース

公表されている農地ピンデータのうち、以下のように農地の隅にピンが表示されている場合があります。この場合は、農地区画の概ね中心に作成した農地ピンデータを提供いただく必要があります。農地ピンデータが提供できない場合は、農地区画図データ（ポリゴンデータ）を提供いただければ、共同事業体にて概ね農地区画の中心に農地ピンデータの作成を行い、データの再登録を行います。

Ｃ：紐付作業における各種エラーリストについて

１．　エラーリスト作成フロー

共同事業体が実施する公表用ＣＳＶと農地地図データの紐付作業におけるエラーリストは、図１の作業フローにより、（ア）公表用ＣＳＶファイルエラーリスト、（イ）フィルター除外、（ウ）公表用ＣＳＶあまりーの３種類（表１参照）作成されます。エラーリストは紐付作業の結果として、共同事業体から農業委員会等に提供されています。

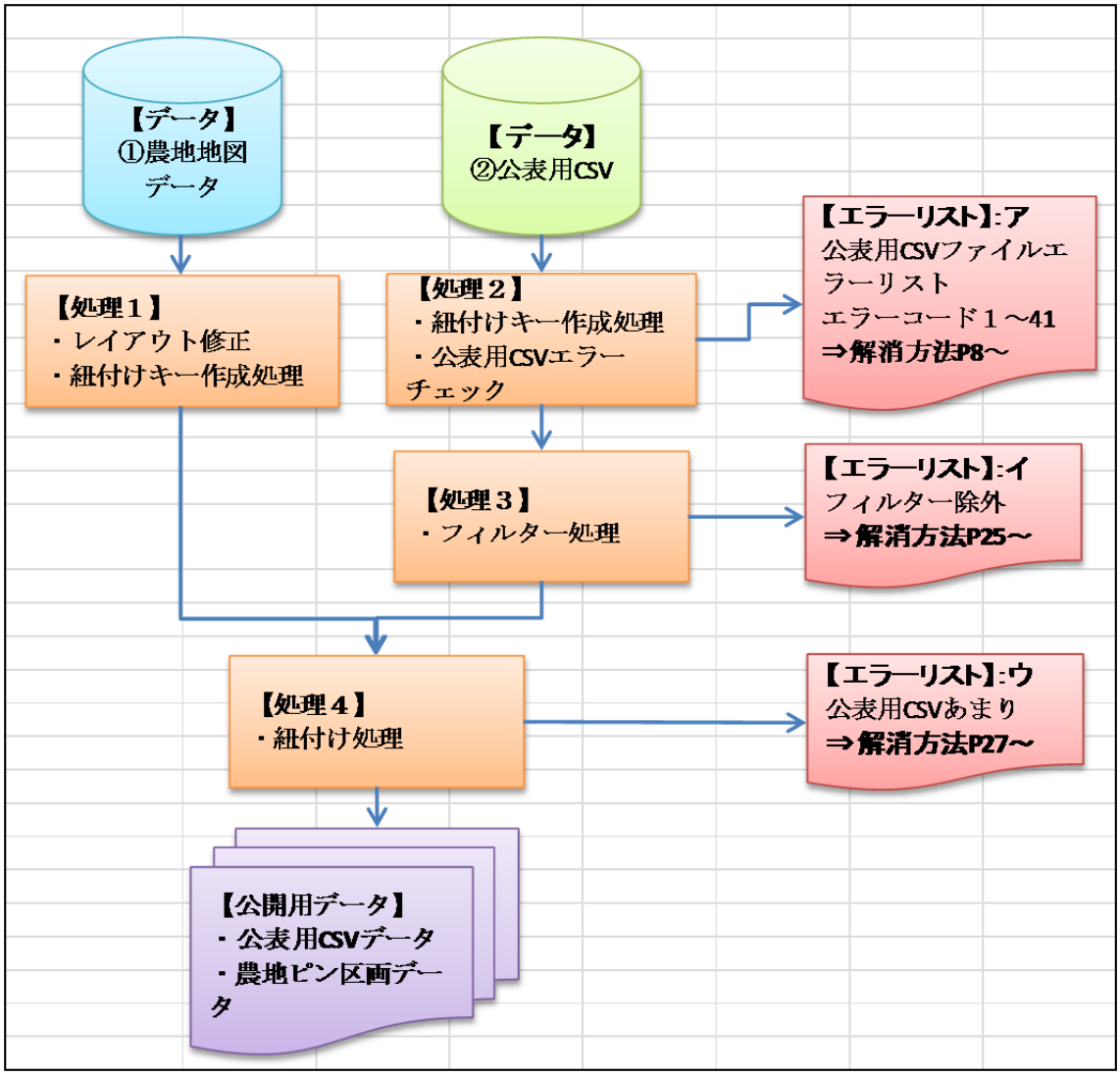


図１　エラーリスト作成フロー図

２．　エラーリスト概要一覧表

項番	エラーリスト名称	作成元データ処理 NO	事象	原因	具体エラー事例
ア	公表用 CSV ファイルエラーリスト.csv	公表用 CSV【処理2】	公表用CSVの各項目について『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドライン V1.0 版』に基づきエラーチェックを行った結果リスト	・必須項目として定義されている項目が入っていない。 ・ガイドラインに定義指定されている数値・文字以外のデータが登録されている。	・大字コード、本番、耕作者整理番号等必須項目が登録されていない ・登記地目に規定値以外のデータが登録されている
イ	フィルター除外.csv	公表用 CSV【処理3】	『農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドライン V1.0 版』2-1（5）に基づき、コード等のフィルター処理により、農地情報公開システムの公表から除外された土地一覧	公表すべきではないデータが登録されている	・他市町村のデータが含まれている ・市街化区域のデータが含まれている ・現況地目が農地以外のデータが含まれている（遊休農地は除く）
ウ	公表用 CSV あまり.csv	公表用 CSV 農地地図データ【処理4】	『農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドライン V1.0 版』2-4（2）（3）に基づき、公表用 CSV と農地地図情報との突合の結果、紐付けできなかった土地一覧	公表用 CSV の所在地と農地地図データの所在地の不一致	・公表用CSVは親番のみであるが、農地地図は枝番が付番されている（例）公表用 CSV「大字田畑 692」農地地図「大字田畑 692-1」）

表１　各種エラーリスト概要一覧

３．　各エラーリストの詳細

ア．「公表用ＣＳＶファイルエラーリスト」

公表用ＣＳＶ、もしくは公表用 Excel のエラーチェックを実施した際に、エラーをコード化したものがエラーコードです。エラーコードとエラーチェック内容等は表２の通りです。

エラーコード1	エラーコード2	チェック内容	エラーメッセージ	エラー例	エラー解消方法
1	エラーコード2は、データ提供共通ガイドライン 農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの2－1(4)表8、もしくは2－1(4)表10のNoに該当します。	全角チェック	全角エラー	全角の項目に半角が混在・入力されている"あいう abc"	P8
2		半角チェック	半角エラー	半角の項目に全角が混在・入力されている"abc あいう"	P9
3		桁数チェック	桁数エラー	3 桁項目なのに、"1234"	P9
4		必須チェック	必須エラー	必須項目なのに、""(空文字列)	P10
5		データ範囲チェック	データ範囲エラー	1～99999999 の項目範囲に、"0"、"123456789"	P10
6		不正コードチェック	不正コードエラー	0:設定無、1:無、2:有の項目なのに、"3"	P11
7		数値チェック	数値エラー	マイナス値、小数桁数が多い	P11
8		日付チェック	日付エラー	"20140000"、"20141301"	P12
11		使用禁止文字チェック	全角禁止文字エラー/半角禁止文字エラー	"∈"	P13
21		全国地方公共団体コードチェック	全国地方公共団体コードエラー	"999999"	P17
31		開始日、終了日の大小が正しいか ※開始日=終了日は OK。	期間エラー	開始日=2016/4/1、終了日=2014/3/31	P18
32		農地中間管理権の整合性チェック	中間管理権取得年月日なしエラー	取得年月日=""、権利="1" ※農地中間管理権を取得していないのに、権利が設定されているのでエラー。	P19
33		利用状況調査の整合性チェック	利用状況調査・利用意向調査	利用状況調査結果="0"、利用意向調査結果="1"	P20

			関連エラー	※利用状況を調査中なのに、意向調査結果が入力されているのでエラー。	
41		大字コード、小字コード、本番区分、本番、枝番区分、枝番、孫番区分、孫番、区分で重複チェック	地番重複エラー（OKエラー）	大字コード、小字コード、本番区分、本番、枝番区分、枝番、孫番区分、孫番、区分が同じレコードが２以上存在する	P22

表２　公表用ＣＳＶ、公表用 Excel エラーコード一覧

イ．「フィルター除外リスト」について

公表用ＣＳＶのフィルター除外リストは、図２のフローに基づき公開に適さないデータを除外したリスト。フィルター処理で除外される主な原因は、現況地目が農地以外の地目の土地（遊休農地は除く）や市街化区域内の農地です。除外されているデータの中に公開すべき農地が含まれていないか確認し、必要に応じて公表用ＣＳＶを修正して下さい。

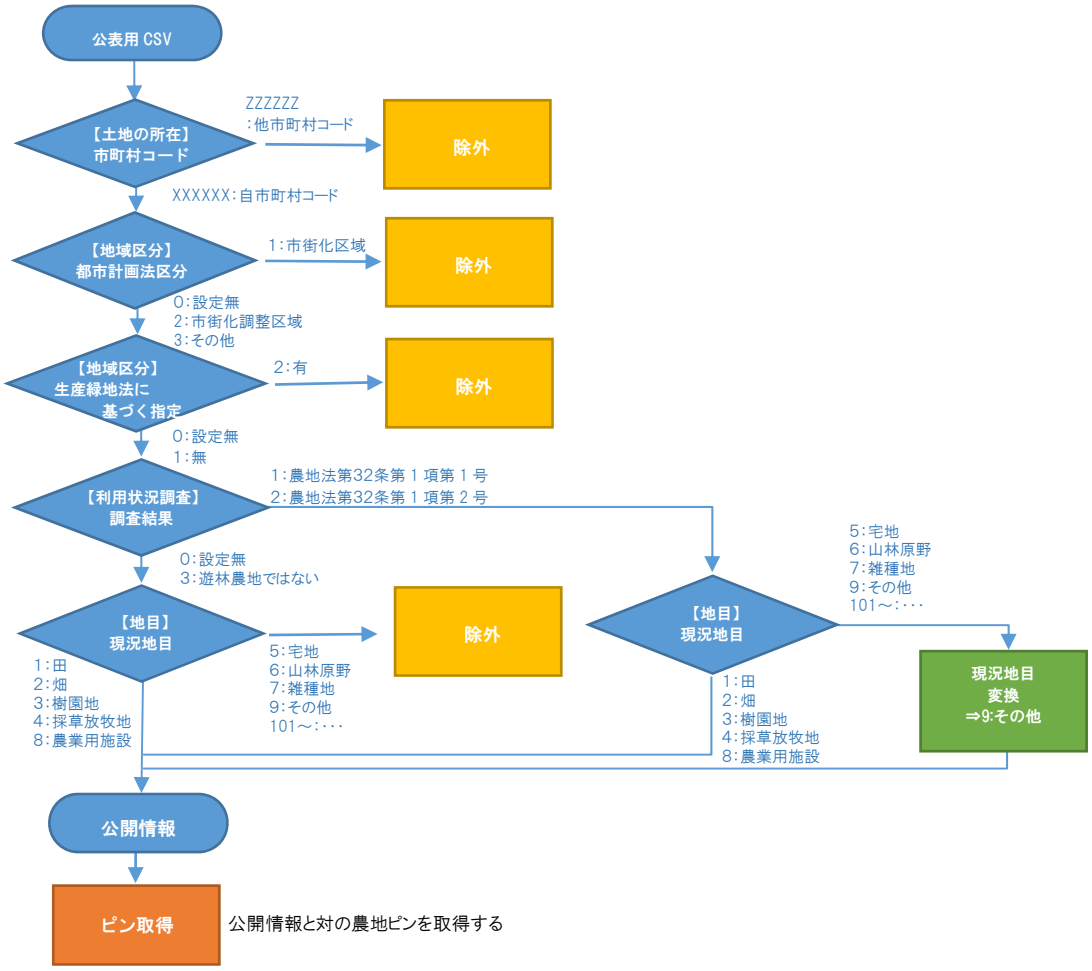


図２　公表用 CSV 除外リスト作成処理フロー

ウ.「公表用ＣＳＶあまり」の詳細

公表用ＣＳＶの所在地と農地地図データの所在地を紐付した結果、公表用ＣＳＶのデータが不一致（公表用ＣＳＶあまり＝公表用ＣＳＶの所在地が農地地図データにない）となった一覧表です。

不突合の主な原因は、公表用ＣＳＶの所在地が親番のみで、農地地図データの所在地に枝番が付番されている等です。

不一致を解消するためには、公表用ＣＳＶの所在地又は、農地地図データの所在地の修正が必要です。

４．　エラーリストの修正方法等

ア．　「公表用ＣＳＶファイルエラーリスト」の修正方法

①【エラーコード１】全角チェック

全角文字以外の使用が禁止されている項目に半角文字が入力されている場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「全角エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	13	区分	1	全角エラー	1	13

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「区分」に、半角の値「1」が入力されていた為にエラーとなっています。どの項目が全角文字以外禁止されているか、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（３）表 4』と項目名毎の全角文字・半角文字の指定を確認して、全角で入力してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（３）表４　抜粋

表 4. 使用禁止文字の指定

項目名	全角・半角入力		項目名	全角・半角入力	
	全角	半角		全角	半角
市町村コード	×	○	機構が中間管理権を取得した年月日	×	○
市町村名	○	×	権利設定の内容等内容（権利の種類）	×	○
大字コード	×	○	設定期間（年）	×	○
大字名	○	×	設定期間（月）	×	○

②【エラーコード２】半角チェック

半角文字以外の使用が禁止されている項目に全角文字が入力されている場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「半角エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	12	孫番	A	半角エラー	2	12

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「孫番」に、全角の値「Ａ」が入力されていた為にエラーとなっています。どの項目が半角文字以外禁止されているか、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（３）表 4』と項目名毎の全角文字・半角文字の指定を確認して、半角で入力してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（３）表４　抜粋

表 4. 使用禁止文字の指定

項目名	全角・半角入力		項目名	全角・半角入力	
	全角	半角		全角	半角
市町村コード	×	○	機構が中間管理権を取得した年月日	×	○
市町村名	○	×	権利設定の内容等内容（権利の種類）	×	○
大字コード	×	○	設定期間（年）	×	○
大字名	○	×	設定期間（月）	×	○

③【エラーコード３】桁数チェック

桁数が指定されている項目に、桁数を超えて入力されている場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「桁数エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	14	登記簿地目	123	桁数エラー	3	14

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「登記簿地目」の桁数２桁を超えた値「123」が入力されていた為にエラーとなっています。項目毎の桁数について、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（４）表 8』の字数を確認して、範囲内の値を入力してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（4）表 8
登記簿地目の抜粋

No	小分類	項目名	ファイルレイアウト		
			種類	字数	コード表/範囲指定
14	地目	登記簿地目	数字	2	1:田 2:畑 3:牧場 4:宅地 5:山林

④【エラーコード４】必須チェック

入力必須の項目に、値が入力されていない場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「必須エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	4	大字名		必須エラー	4	4

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「大字名」が必須項目だが、値が入力されていなかった為にエラーとなっています。項目毎に必須かどうかついて、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-2.（2）表 16』のチェック内容に記載されている【必須】の記載を確認して、必須項目を入力してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-2.（2）表 16
大字名の抜粋

No	小分類	チェック項目	チェック内容
4		大字名	【必須】 全角文字以外の入力はエラー No. 3 大字コードに対応する名称であること 使用禁止文字がある場合はエラー（※1）

⑤【エラーコード５】データ範囲チェック

データの範囲が指定されている項目に、範囲外の値が入力されている場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「データ範囲エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	25	設定期間(月)	22	データ範囲エラー	5	25

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「設定期間（月）」の指定範囲「0～11」を超えた値「22」が入力されていた為にエラーとなっています。項目毎のデータの範囲について、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-2.（２）表 16』のチェック内容に記載されているデータ範囲の記載を確認して、範囲内の値に修正してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-2.（２）表 16
設定基幹（月）の抜粋

No	小分類	チェック項目	チェック内容
25		設定期間（月）	「0～11」、空白（NULL）以外の入力はエラー

⑥【エラーコード６】不正コードチェック

コードが指定されている項目に、指定コード以外が入力されている場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「不正コードエラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	18	農振法区分	9	不正コードエラー	6	18

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「農振法区分」に、指定されたコード以外の値「9」が入力されていた為にエラーとなっています。項目毎の指定コードについて、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（４）表 8』のコード表を確認して、指定されているコードを入力してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（４）表 8
農振法区分コードの抜粋

農振法区分	数字	1	0:設定無 1:農振地域・農用地区域 2:農振地域・農用地区域外 3:農振地域外

⑦【エラーコード７】数値チェック

項目の種類が数字に指定されている項目に、数字以外が入力されている場合、マイナス値が入力されている場合、少数の場合に指定された整数部・小数部の桁数を超えている場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「数値エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	16	登記簿面積	-100	半角禁止文字エラー	11	16
3	2	2	16	登記簿面積	1000.123	数値エラー	7	16

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「登記簿面積」に、1 行目では値にマイナス値「-100」が入力されており、2 行目では少数点以下の桁数 2 桁を超えた値「1000.123」が入力されていた為にエラーとなっています。項目毎の種類や整数部・少数部の桁数について、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（4）表 8』の種類やファイルレイアウトを確認して、指定されている範囲の値を入力してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（4）表 8
登記簿面積、現況面積の抜粋

No	小分類	項目名	ファイルレイアウト		
			種類	字数	コード表/範囲指定
					153:宿泊施設等 154:その他サービス 161:公共施設 162:学校用地 163:公園・運動場 164:その他公共施設 171:植林 181:基盤強化法転用 191:露天資材置場 192:露天駐車場 198:その他
16	面積	登記簿面積	数字	13	単位「㎡」　整数部 10 桁、小数点 1 桁、小数部 2 桁
17		現況面積	数字	13	単位「㎡」　整数部 10 桁、小数点 1 桁、小数部 2 桁

⑧【エラーコード８】日付チェック

日付が指定されている項目に、指定されている日付型以外が入力されている場合や、存在しない日付が入力されている場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「日付エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	28	機構が農地中間管理権を取得した年月日	20150101	日付エラー	8	28
3	2	2	28	機構が農地中間管理権を取得した年月日	2015/00/00	日付エラー	8	28

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「機構が農地中間管理権を取得した年月日」に、1 行目では指定された書式（西暦 4 桁/月 2 桁/日 2 桁）以外の値「20150101」が入力されており、2 行目では存在しない日付の値「2015/00/00」が入力されていた為にエラーとなっています。どの項目が日付型なのか、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（4）表 8』の種類を確認して、指定されている日付型で入力してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（4）表 8
機構が農地中間管理権を取得した年月日の抜粋

No	小分類	項目名	ファイルレイアウト		
			種類	字数	コード表/範囲指定
26		始期年月日	日付	10	西暦 4 桁/月 2 桁/日 2 桁　(YYYY/MM/DD)
27		終期年月日	日付	10	西暦 4 桁/月 2 桁/日 2 桁　(YYYY/MM/DD)
農地中間管理権と利用配分計画等―機構が農地中間管理権を取得した年月日					
28	機構が農地中間管理権を取得した年月日	機構が農地中間管理権を取得した年月日	日付	10	西暦 4 桁/月 2 桁/日 2 桁　(YYYY/MM/DD)

⑨【エラーコード１１】使用禁止文字チェック

使用が禁止されている文字が入力されている場合にエラーとして出力されます。主に、外字文字を利用しているケースが多く見受けられます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「使用禁止文字エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	4	大字名	山𠮷上	全角禁止文字エラー	11	4

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「大字名」に使用禁止である外字文字を含む「山𠮷上」（外字文字は「𠮷」）が入力されていた為にエラーとなっています。使用が禁止されている文字について、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（3）表 5、表 6、表 7』を確認して、使用できる文字を入力してください。なお、外字文字は農地情報公開システムにて表示対応できませんので、公表用ＣＳＶでは利用はできません。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（３）３）
外字文字が利用不可である記載部分の抜粋

シフト JIS 内で利用できる文字は基本的にすべて利用できるが、外字は利用不可とする。外字は、シフト JIS 内で利用できる文字に置き換える。尚、シフト JIS の規格外で利用できる全角文字について、次項を参照。

当エラーが出力される場合、公表用ＣＳＶに使用禁止文字が使用されており、特に外字文字が使用されているケースがほとんどです。使用禁止文字が存在する場合、文字の置き換えが必要となります。文字の置き換えにつきましては、市町村の電算担当職員に対応を相談する等、検討してください。

また、公表用ＣＳＶをメモ帳等のテキストエディタで開き、置換機能を利用して文字を置換する等の対処も可能です。農業委員会等にて処理が可能であると判断した場合は、以下の【参考】「メモ帳で外字文字を置換する場合の操作方法」を参照して、使用禁止文字を無くすようにしてください。

公表用ＣＳＶに使用禁止文字が残ったまま公表された場合、農地情報公開システムでは、例えば外字文字が「・」等の表現で表示されてしまいます。（外字文字の表示はパソコンの外字設定環境に依存します）

●エラーではないが注意する事項「市町村名、大字名、小字名」

市町村名、大字名、小字名については、『データ提供共通ガイドライン農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-2.（２）表 16』にて、それぞれコードに対応する名称であることと指定されています。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（６）表 16　抜粋

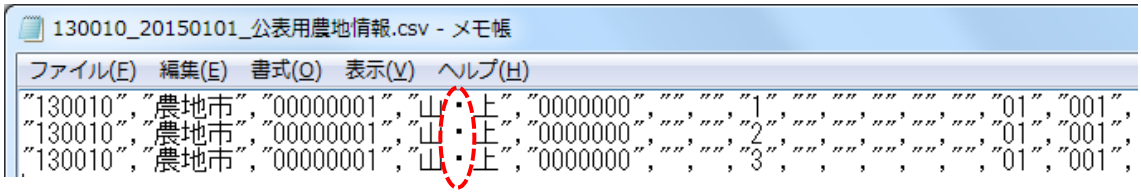
表 16.　エラーチェック一覧

No	小分類	チェック項目	チェック内容
基本的事項―基本的事項			
1	土地の所在	市町村コード	【必須】 未入力はエラー 全国地方公共団体コード仕様に定義されていない場合はエラー
2		市町村名	【必須】 未入力はエラー 全角文字以外の入力はエラー No.1 市町村コードに対応する名称であること 使用禁止文字がある場合はエラー（※1）
3		大字コード	【必須】 未入力はエラー データ範囲「1～99999999」以外はエラー
4		大字名	【必須】 全角文字以外の入力はエラー No.3 大字コードに対応する名称であること 使用禁止文字がある場合はエラー（※1）
5		小字コード	半角数字、空白（NULL）以外の入力はエラー データ範囲「0～99999999」以外はエラー
6		小字名	全角文字、空白（NULL）以外の入力はエラー No.5 小字コードに対応する名称であること 使用禁止文字がある場合はエラー（※1）

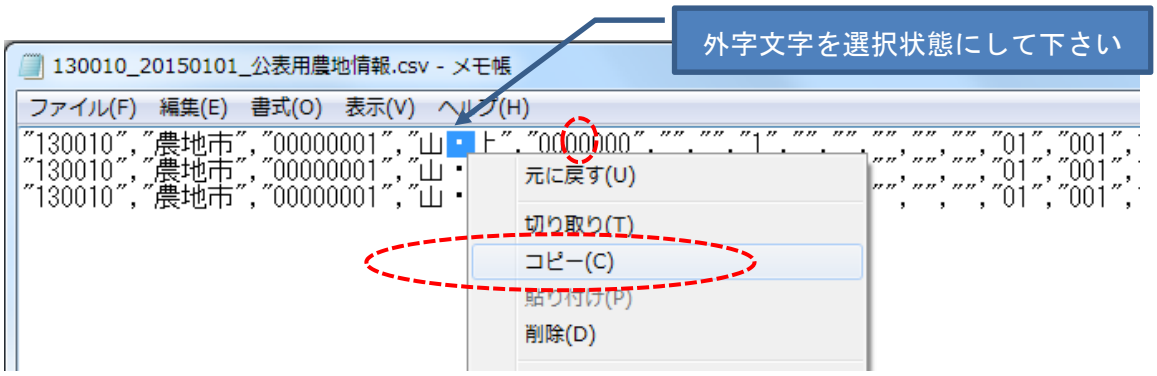
また、公表用ＣＳＶのエラーチェックリストには該当しませんが、例えば市町村名に「農地市」、大字名に「農地市山の上」と入力されるケースがあります。この場合、農地情報公開システムの所在・地番には、「農地市農地市山の上」と表現されてしまい、市町村名が重複してしまいますので、市町村名、大字名、小字名は正しく入力してください。

【参考】メモ帳で外字文字を置換する場合の操作方法

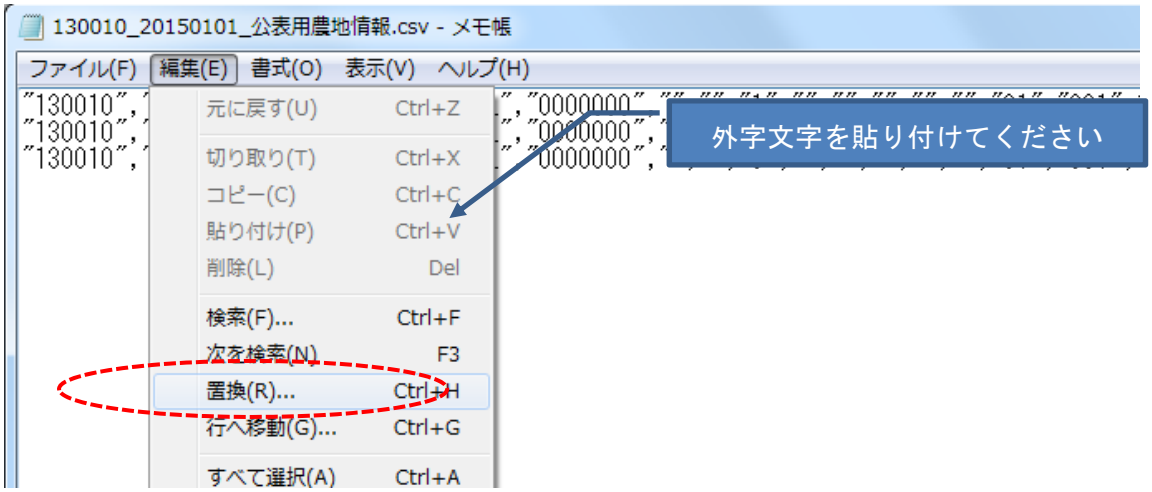
メモ帳で公表用 CSV を開きます。（外字文字は「・」で表現されています。）



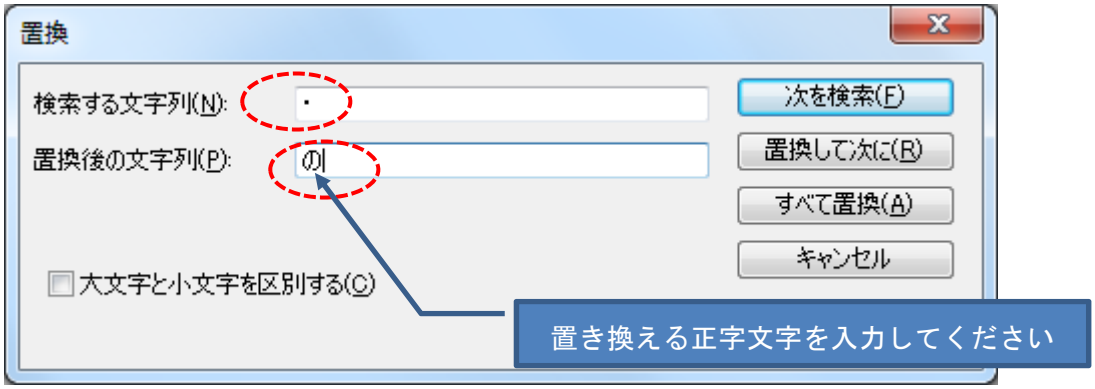
外字文字を選択状態にした後に、マウスの右クリックを押下し、表示されるメニューから「コピー」を選択します。



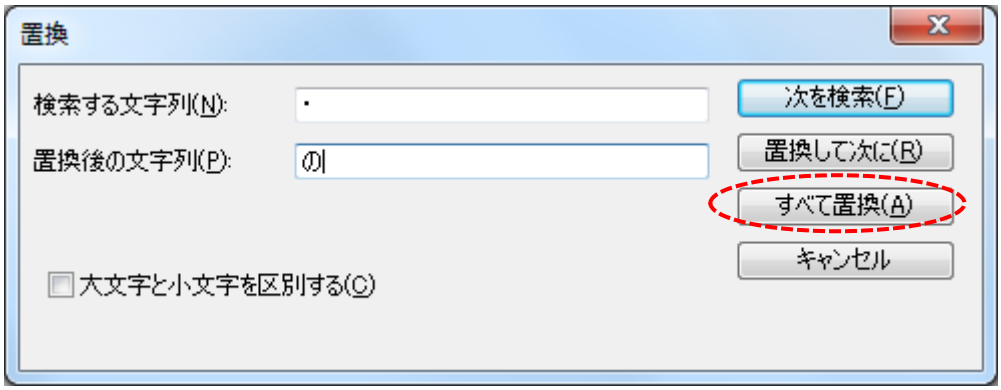
メニューの「編集」から「置換」を選択してください。



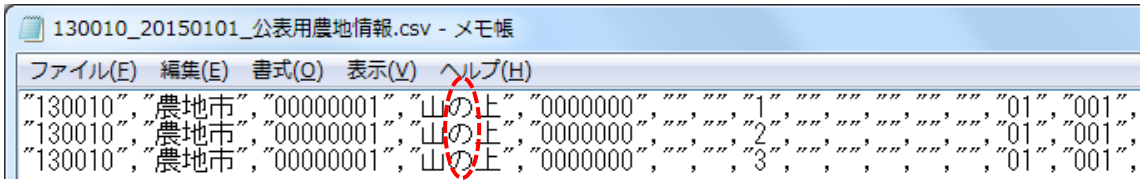
置換ウインドウで、「検索する文字列」に先ほどコピーした外字文字を貼り付け（Ctrl+V）してください。「置換後の文字列」に外字文字を置き換える正字文字を入力してください。



「すべて置換」ボタンを押下してください。



外字文字が入力した正字文字に置換されます。



⑩【エラーコード２１】全国地方公共団体コードチェック

市町村コードに、総務省が定める全国地方公共団体コード以外が入力されている場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「全国地方公共団体コードエラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	1	市町村コード	13001	全国地方公共団体コードエラー	0	1

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「市町村コード」に全国地方公共団体コード以外が入力されていた為にエラーとなっています。市町村コードについて、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-2.（２）表 16』のチェック内容を確認して、全国地方公共団体コードを入力してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-2.（２）表 16
市町村コードの抜粋

No	小分類	チェック項目	チェック内容
基本的事項―基本的事項			
1		市町村コード	【必須】 未入力はエラー 全国地方公共団体コード仕様に定義されていない場合はエラー

【参考：総務省ホームページより】
全国地方公共団体コードの URL＝
http://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html

当エラーが出力される場合、ほとんどのケースで 6 桁の全国地方公共団体コードではなく、5 桁の市町村コードが用いられている場合が多いです。

⑪【エラーコード３１】期間チェック
農地の賃借権等の契約開始日と契約終了日の前後関係に誤りがある場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「期間エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	-1			期間エラー	31	26

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「始期年月日」と「終期年月日」の関係が誤っている為にエラーとなっています。当エラーの場合、エラーリストに「項目名」は表示されませんが、エラーコード 2 が『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-2.（２）表 16』の「No」に該当している項目がエラーとなっています。公表用ＣＳＶにおいて「始期年月日」と「終期年月日」は、「農地等の賃借権等の設定の状況」もしくは「農地中間管理権と利用配分計画等」のいずれかにしかない項目となる為、エラーコード 2 と『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-2.（２）表 16』の「No」を確認して、エラー項目を特定してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-2.（２）表 16

始期年月日、終期年月日の抜粋

No	小分類	チェック項目	チェック内容
20		生産緑地に基づく指定	未入力はエラー 「0、1」以外の入力はエラー 「2：有」が存在する場合はエラー
21	所有者の農地に関する意向	所有者の農地に関する意向	未入力はエラー 「0、1、2、3、4、5」以外の入力はエラー
22	耕作者		【[illegible]】 [illegible]力はエラー データ範囲「0～999999999999999999」以外はエラー
農地等の賃借権等の設定の状況―農地等の賃借権等の設定の状況			
23	権利設定の内容等	権利の種類	未入力はエラー 「0、1、2、3、4、5、6」以外の入力はエラー
24		設定期間（年）	「0～99」、空白（NULL）以外の入力はエラー
25		設定期間（月）	「0～11」、空白（NULL）以外の入力はエラー
26		始期年月日	日付形式の入力（YYYY/MM/DD）、空白（NULL）以外はエラー No.27「終期年月日」以降の日付入力はエラー
27		終期年月日	日付形式の入力（YYYY/MM/DD）、空白（NULL）以外はエラー No.26「始期年月日」以前の日付入力はエラー
農地中間管理権と利用配分計画等―機構が農地中間管理権を取得した年月日			
28	機構が農地中間管理権を取得した年月日	機構が農地中間管理権を取得した年月日	日付形式の入力（YYYY/MM/DD）、空白（NULL）以外はエラー
農地中間管理権と利用配分計画等―利用配分計画			
29	権利設定の内容等内容（権利の種類）	権利設定の内容等内容（権利の種類）	未入力はエラー 「0、1、2」以外の入力はエラー
30	存続期間	設定期間（年）	「0～99」、空白（NULL）以外の入力はエラー
31		設定期間（月）	「0～11」、空白（NULL）以外の入力はエラー
32		始期年月日	日付形式の入力（YYYY/MM/DD）、空白（NULL）以外はエラー No.33「終期年月日」以降の日付入力はエラー
33		終期年月日	日付形式の入力（YYYY/MM/DD）、空白（NULL）以外はエラー No.32「始期年月日」以前の日付入力はエラー

エラーコード２に対応

⑩【エラーコード３２】農地中間管理権の整合性チェック

機構が農地中間管理権を取得していない（機構が農地中間管理権を取得した年月日が null 又は未入力）場合であって、農地中間管理権の状況における権利設定の内容（権利の種類）が 1:使用賃借権 又は 2:賃貸借権 が入力されている場合にはエラーとして出力されます。

また、機構が農地中間管理権を取得した年月日が入力されている場合であって、農地中間管理権の状況における権利設定の内容（権利の種類）が 1:使用賃借権、2:賃貸借用以外の場合、農地情報公開システムでは「農地中間管理機構が借り手を募集している農地」と表現する為、エラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「中間管理権取得年月日なしエラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	-1			中間管理権取得年月日なしエラー	32	29

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「機構が農地中間管理権を取得した年月日」が未入力なのに、「農地中間管理権の状況における権利設定の内容（権利の種類）」が入力されていた為にエラーとなっています。当エラーについて、農地情報公開システムにおける表現の変更に伴うものとなりますので、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（６）表 13』を確認してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（６）表 13

表 13. 公表用 CSV の関連チェックにおける表現の変更

No.		エラーチェック内容
1	農地中間管理権の状況における権利設定の内容（権利の種類）	機構が農地中間管理権を取得していない（機構が農地中間管理権を取得した年月日が null 又は未入力）場合であって、1 又は 2 が入力されている場合にはエラーであるため、農地情報公開システムでは「調査中」と表現する。 また、機構が農地中間管理権を取得した年月日が入力されている場合であって、農地中間管理権の状況における権利設定の内容（権利の種類）が 1:使用賃借権、2:賃貸借用以外の場合、農地情報公開システムでは「農地中間管理機構が借り手を募集している農地」と表現する
2	利用意向調査の調査結果	利用状況調査の調査結果が 0:設定無の場合、農地情報公開システムでは「調査中」と表現する。1～5 の場合にはエラーであるため、エラーリストを出力する。 また、利用状況調査の調査結果が 3:遊休農地ではないの場合、農地情報公開システムでは「調査対象外」と表現する。1～5 の場合にはエラーであるため、エラーリストを出力する。

また、農地情報公開システムにおける表現の変更につきましては、以下の一覧表を確認してください。

公表用CSVファイルのうち、公表システムで取り扱うデータ		公開システムでの表現等		
項目	コード等	公開システムでの表現	注釈	未入力、null、指定コード以外の場合
機構が農地中間管理権を取得した年月日	公表システム上、取得年月日データは取り扱わないが、データ整備側において、取得年月日が入力されている場合であって、次項の権利設定の内容が０・null・未入力である場合には、次項を「3:農地中間機構が管理している農地」に書き換える	-	-	-
権利設定の内容（権利の種類）	0：設定無 1：使用賃借権 2：賃貸借権 3：農地中間管理機構が借り手・買い手を募集している農地（新規追加）	農地中間管理権が設定されていない 農地中間管理機構が既に貸出済の農地（使用賃借権設定） 農地中間管理機構が既に貸出済の農地（賃借権設定） 農地中間管理機構が借り手・買い手を募集している農地	【データ整備側の対応】 機構が農地中間管理権を取得していない（年月日がnull又は未入力）場合であって、本項に１又は２が入力されている場合には、エラーであるためデータ整備にてnullに置き換えます。	「調査中」と表示する

⑪【エラーコード３３】利用状況調査の整合性チェック

「利用状況調査の調査結果」が「０：設定無」の場合で「利用意向調査の調査結果」に「１～５」の入力がある場合、農地情報公開システムでは「調査中」と表現する為、エラーとして出力されます。

また、「利用状況調査の調査結果」が「３：:遊休農地ではない」の場合で、「利用意向調査の調査結果」に「１～５」の場合、農地情報公開システムでは「調査対象外」と表現する為、エラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「利用状況調査・利用意向調査関連エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	-1			利用状況調査･利用意向調査関連エラー	33	39

上記の例では、公表用ＣＳＶの項目名「利用状況調査の調査結果」が「0:設定無」なのに、「利用意向調査の調査結果」が入力されていた為にエラーとなっています。当エラーについては、農地情報公開システムにおける表現の変更に伴うものとなりますので、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（６）表 13』を確認してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（６）表 13

表 13. 公表用 CSV の関連チェックにおける表現の変更

No		エラーチェック内容
1	農地中間管理権の状況における権利設定の内容（権利の種類）	機構が農地中間管理権を取得していない（機構が農地中間管理権を取得した年月日が null 又は未入力）場合であって、1 又は 2 が入力されている場合にはエラーであるため、農地情報公開システムでは「調査中」と表現する。 また、機構が農地中間管理権を取得した年月日が入力されている場合であって、農地中間管理権の状況における権利設定の内容（権利の種類）が 1:使用賃借権、2:賃貸借用以外の場合、農地情報公開システムでは「農地中間管理機構が借り手を募集」ている農地」と表現する。
2	利用意向調査の調査結果	利用状況調査の調査結果が 0:設定無の場合、農地情報公開システムでは「調査中」と表現する。1～5 の場合にはエラーであるため、エラーリストを出力する。 また、利用状況調査の調査結果が 3:遊休農地ではないの場合、農地情報公開システムでは「調査対象外」と表現する。1～5 の場合にはエラーであるため、エラーリストを出力する。

また、農地情報公開システムにおける表現の変更につきましては、以下の一覧表を確認してください。

要約書表示画面での項目		公表用CSVファイルのうち、公表システムで取り扱うデータ		公開システムでの表現等		
大項目	小項目	項目	コード等	公開システムでの表現	注釈	未入力、null、指定コード以外の場合
遊休農地関係	遊休農地かどうか	調査結果（利用状況調査）	0：設定無 1：農地法第32条第1項第1号 2：農地法第32条第1項第2号 3：遊休農地ではない	調査中 遊休農地（不耕作） 遊休農地（低利用） 遊休農地ではない		「調査中」と表示する
	遊休農地の所有者等の意向	調査結果（利用意向調査）	0：設定無 1：自ら耕作を再開 2：農地中間管理事業の利用 3：農地所有者代理事業の利用 4：その他の権利設定又は移転 5：その他（農業上の利用以外） 6：調査対象外（新規追加）	調査中 自ら耕作を再開 農地中間管理事業の利用 農地所有者代理事業の利用 その他の権利設定又は移転 その他（農業上の利用以外） 調査対象外	【データ整備側の対応】 前項（利用状況調査結果）が 0 -null-未入力の場合、データ整備で本項をnullに置き換えます。 前項（利用状況調査結果）が30の場合、データ整備で6に置き換えます。	「調査中」と表示する
	措置の実施状況	農地中間管理機構等との協議等、裁定、措置命令	公表システム上、取り扱っていない。	空欄	項目欄は表示するが、空欄でよい。	－

⑫【エラーコード４１】地番重複チェック

大字コード、小字コード、本番区分、本番、枝番区分、枝番、孫番区分、孫番、区分が同じレコードが 2 レコード以上存在する場合にエラーとして出力されます。

例：公表用 CSV ファイルエラーリスト「地番重複エラー」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	行番号	列番号	項目名	値	エラー内容	エラーコード1	エラーコード2
2	1	1	-1		130010/00000001-0000000:1--/	地番重複エラー	41	-1
3	2	2	-1		130010/00000001-0000000:1--/	地番重複エラー	41	-1

上記の例では、公表用ＣＳＶの地番（大字コード、小字コード、本番区分、本番、枝番区分、枝番、孫番区分、孫番、区分）が重複していた為にエラーとなっています。値は「突合キー」にて表現されています。地番重複と突合キーの内容について、『データ提供共通ガイドライン　農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（６）表 14』を確認してください。

農地台帳・農地地図登録データ仕様ガイドラインの、2-1.（６）表 14

表 14. 公表用 CSV ファイルの地番重複チェック

No	エラーチェック内容	エラー例
1	大字コード、小字コード、本番区分、本番、枝番区分、枝番、孫番区分、孫番、区分で重複したデータが存在しないか	大字コード、小字コード、本番区分、本番、枝番区分、枝番、孫番区分、孫番、区分が同じレコードが 2 レコード以上存在する

公表用 CSV ファイルには、地図データとの突合の為に、農地情報公開システムにて以下の突合キーを付与して地図データとの突合を行う。

○突合キーの作成手法

／（半角スラッシュ）、－（半角ハイフン）、：（半角コロン）を結合文字列として使用する。

【市町村コード】／【大字コード】－【小字コード】：【本番区分】【本番】－【枝番区分】【枝番】－【孫番区分】【孫番】／【区分】

当エラーが出力される場合、公表用ＣＳＶに地番重複が存在しています。以下の事例を参照してそれぞれの対応をお願いいたします。事例に該当しない場合や不明点については、共同事業体の県担当に個別にご相談ください。（必要に応じて農地台帳システム業者に問合せ・確認してください。）

例１）　内地番管理の場合

一筆の一部を使用賃借している農地等（内地番管理）について、現在使用している農地台帳システムにおいて同一地番で管理している場合は、区分を使用して別番号を付番し公表用 CSV を作成願います。

	大字名称	大字コード	小字名称	小字コード	本番	枝番	区分
農地台帳システム	○○	011	□□	001	283	5	
農地台帳システム	○○	011	□□	001	283	5	

↓

修正公表用ＣＳＶ	○○	011	□□	001	283	5	1
修正公表用ＣＳＶ	○○	011	□□	001	283	5	2

例２）　農地台帳システムのデータ管理・公表用 CSV 作成機能の問題

履歴管理等により、公表用 CSV に過去の履歴も含まれているケースについては、最新情報だけを公表用 CSV として提供してください。

	大字名称	大字コード	小字名称	小字コード	本番	枝番	現況面積	現況地目	変更履歴
農地台帳システム	○○	011	□□	001	283	5	1000	畑	分筆元
農地台帳システム	○○	011	□□	001	283	5	500	畑	分筆後
農地台帳システム	○○	011	□□	001	283	6	500	宅地	分筆後

↓

修正公表用ＣＳＶ	○○	011	□□	001	283	5	500	畑	分筆後

※公表用ＣＳＶを最新情報のみに修正する

例３）　共有地を面積按分して分割している場合

共有者のいる農地を登録する際に、同一地番のデータとして複製・管理しているケースについては、代表者の農地データのみを出力した公表用ＣＳＶを作成してください。

	大字名称	大字コード	小字名称	小字コード	本番	枝番	所有者	持分
農地台帳システム	○○	011	□□	001	283	5	農地　太郎	1/2
農地台帳システム	○○	011	□□	001	283	5	農地　花子	1/2

※代表者農地太郎様の
データのみ出力し公表用 CSV 作成

修正公表用ＣＳＶ	○○	011	□□	001	283	5		

例４）　公表用ＣＳＶのフォーマットの関係で、全ての地番の項目（孫番以下のひ孫番等が存在するケース）が不足し切り捨てられたため、結果として公表用ＣＳＶにて地番重複となった場合

この場合、農地地図との地番照合も考慮し、今後フェーズ２での対応を含め検討します。

例５）　登記簿上同一の地番が存在する場合

この場合、農地地図との地番照合も考慮し、今後フェーズ２での対応を含め検討します。

イ．　「フィルター除外リスト」の修正方法

除外項目について除外されて問題ないかどうか確認してください。確認の結果、修正が必要な場合は以下の通り修正してください。

NO	フィルター除外項目	修正の必要性、修正方法等
1	市町村コードによる除外	【データ修正:不要】 市町村の区域外に出作している農地は除外されます。通常、他市町村コードとなり、除外リストに登録されます。除外されるべき農地となりますので修正の必要はありません。 【データ修正:必要】 市町村コードに入力誤りがある場合は、除外リストに登録されます。この場合は、正しい市町村コードに修正が必要です。
2	都市計画法による地域区分による除外	【データ修正:不要】 市街化区域内の農地は、除外されます。コードは「１：市街化区域」に設定され、除外リストに登録されます。除外されるべき農地となりますので、修正の必要はありません。 【データ修正:必要】 市街化区域内の農地ではなく、コードが「１：市街化区域」に設定されている場合は、除外リストに登録されます。この場合は、正しいコード「２：市街化調整区域」「３：その他」に修正が必要です。
3	生産緑地法に基づく指定による除外	【データ修正:不要】 生産緑地法に基づく指定農地は、除外されます。コードは「２：有」に設定され、除外リストに登録されます。除外されるべき農地となりますので修正の必要はありません。 【データ修正:必要】 生産緑地法に基づく指定農地ではなく、コードが「２：有」に設定されている場合は、除外リストに登録されます。この場合は、正しいコード「１：無」に修正が必要です。

4	現況地目及び利用状況調査・調査結果による除外	【データ修正:不要】 「１：田」、「２：畑」、「３：樹園地」、「４：採草放牧地」、「８：農業用施設用地」以外の現況地目は除外され、除外リストに登録されます。修正の必要はありません。 ※ただし、「上記」以外の現況地目であり、「１：農地法第 32 条第 1 項第 1 号」「２：農地法第 32 条第 1 項第 2 号」に該当する場合は、「９：その他」の現況地目として公表されることになり、除外リストには登録されません。 【データ修正:必要】 利用状況調査・調査結果は、農地法第 32 条第 1 項第 1 号及び第 2 号に該当するが、コードが「０：設定無」「３：遊休農地ではない」に設定されている場合は、除外リストに登録されます。この場合は、正しいコード「１：農地法第 32 条第 1 項第 1 号」「２： 農地法第 32 条第 1 項第 2 号」に修正が必要です。

表１５　フィルター除外リストの修正方法等

ウ.　「公表用ＣＳＶあまり」の修正方法

公表用ＣＳＶあまりの確認～修正方法については以下の通りです。エラーの状況を判断し、調査が必要です。

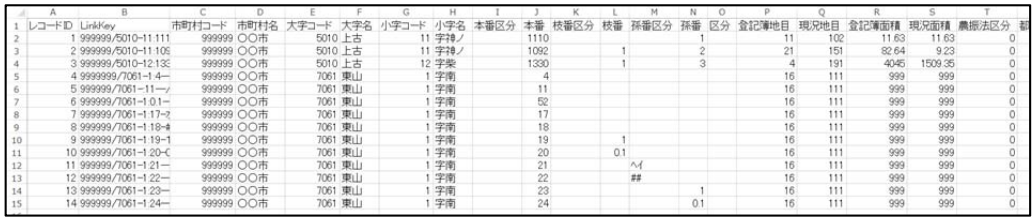
分類	公表用ＣＳＶあまり確認項目	修正
農地地図システムが導入されている農業委員会等	農地地図データとの確認	農地地図システムで公表用ＣＳＶあまりの所在地付近を確認して、必要に応じて公表用ＣＳＶの所在地を修正します。
農地地図システムが導入されていない農業委員会等	固定資産課税台帳照合結果との確認	毎年実施している固定資産課税台帳照合結果を確認して、必要に応じて公表用ＣＳＶの所在地を修正します。
	固定資産課税台帳・市町村公図（地番図）との確認	固定資産課税台帳・市町村公図（地番図）を確認して、必要に応じて公表用ＣＳＶの所在地を修正します。
	土地登記簿・公図（法務局）との確認	土地登記簿・公図（法務局）を確認して、必要に応じて公表用ＣＳＶの所在地を修正します。

表１６　「公表用ＣＳＶあまり」の修正

公表用ＣＳＶあまりは、公表用ＣＳＶファイルの土地の所在を農地地図情報と突合した結果、対象となる農地の位置が取得できなかった（不突合の）農地情報です。不突合の主な原因は、農地情報と地図情報の時点が異なっている、または地番現況図や公図など内地番の登録がされていない地図情報を利用した、などが考えられます。

例）「公表用ＣＳＶあまり」の内容

農業委員会等コード_日付_公表用農地情報_Edit_不突合リスト.csv



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
1	レコードID	LinkKey	市町村コード	市町村名	大字コード	大字名	小字コード	小字名	本番区分	本番	枝番区分	枝番	孫番区分	孫番	区分	登記簿地目	現況地目	登記簿面積	現況面積	農振法区分
2	1	999999/5010-11:111	999999	○○市	5010	上古	11	字神ノ		1110				1		11	102	11.63	11.63	0
3	2	999999/5010-11:109	999999	○○市	5010	上古	11	字神ノ		1092		1		2		21	151	82.64	9.23	0
4	3	999999/5010-12:133	999999	○○市	5010	上古	12	字柴		1330		1		3		4	191	4045	1509.35	0
5	4	9999999/7061-1:4—	999999	○○市	7061	東山	1	字南		4						16	111	999	999	0
6	5	999999/7061-1:11—/	999999	○○市	7061	東山	1	字南		11						16	111	999	999	0
7	6	999999/7061-1:0.1—	999999	○○市	7061	東山	1	字南		52						16	111	999	999	0
8	7	999999/7061-1:17-2	999999	○○市	7061	東山	1	字南		17						16	111	999	999	0
9	8	999999/7061-1:18-4	999999	○○市	7061	東山	1	字南		18						16	111	999	999	0
10	9	999999/7061-1:19-1	999999	○○市	7061	東山	1	字南		19		1				16	111	999	999	0
11	10	999999/7061-1:20-(	999999	○○市	7061	東山	1	字南		20		0.1				16	111	999	999	0
12	11	999999/7061-1:21—	999999	○○市	7061	東山	1	字南		21			ヘイ			16	111	999	999	0
13	12	999999/7061-1:22—	999999	○○市	7061	東山	1	字南		22			##			16	111	999	999	0
14	13	999999/7061-1:23—	999999	○○市	7061	東山	1	字南		23				1		16	111	999	999	0
15	14	999999/7061-1:24—	999999	○○市	7061	東山	1	字南		24				0.1		16	111	999	999	0

農地地図データとの確認	紐付け対象となる農地地図データを確認して、必要に応じて公表用ＣＳＶの所在地又は農地地図データを修正します。
固定資産課税台帳との照合結果の確認	固定資産課税台帳との照合結果を確認し、必要に応じて公表用ＣＳＶの所在地又は地番図を修正します。

地図の不突合のエラーを解消するためには毎年実施されている固定資産課税台帳との突合（照合）で、農地の有無の判断だけではなく、土地の所在の表記の統一することが必要です。

具体的には大字・小字コード、大字・小字名称や本番、枝番、孫番の表記・様式を固定資産課税台帳と合わせます。

例１）大字コードと小字コード

固定資産課税台帳と公表用ＣＳＶの大字・小字コードが異なっているために不突合となります。

この場合、公表用ＣＳＶの大字・小字コードを固定資産課税台帳と統一することにより、公表用 CSV あまりが解消されます。

	大字名称	大字コード	小字名称	小字コード	本番
固定資産課税台帳（地番図）	朝日町	011	東池	001	283
公表用ＣＳＶ	朝日町	123	東池	0	283
公表用ＣＳＶ修正	朝日町	011	東池	001	283

例２）大字名称と小字名称

固定資産課税台帳と公表用ＣＳＶの大字・小字名称が異なっているために不突合となります。

この場合、公表用ＣＳＶの大字・小字名称を固定資産課税台帳と統一することにより、公表用 CSV あまりが解消されます。

	大字名称	小字名称	本番
固定資産課税台帳（地番図）	朝日町	東池	283
公表用ＣＳＶ	大字朝日町	字東池	283
公表用ＣＳＶ修正	朝日町	東池	283

例３）枝番と孫番

土地の所在の大字、小字、本番までは登録されているが枝番、孫番を登録していないために不突合となります。

この場合、公表用ＣＳＶの枝番、孫番を固定資産課税台帳の状況と合わせることにより、公表用 CSV あまりが解消されます。

	大字名称	小字名称	本番	枝番	孫番
固定資産課税台帳（地番図）	朝日町	東池	28	1	
公表用ＣＳＶ	朝日町	東池	28		
公表用ＣＳＶ修正	朝日町	東池	28	1	

【注意事項】

上記、例１）例３）のように大字・小字コードや本番、枝番、孫番の表記・様式を固定資産課税台帳と合わせると、公表用 CSV あまりが解消されます。

例１）例３）の対応によりすでに公開済の農地情報（農地ピンデータ）の突合キー（※）が変更になります。そのため公開停止の指定やり直す必要がある場合があります。

そのため、公開停止の指定件数が多い農業委員会等においては例２）大字・小字名称の対応だけにする、または公開停止の対象だった農地については公表用ＣＳＶから除外するなどの対応を検討してください。注意点について各農業委員会等の対応方法について不明点がありましたら、共同企業体の各ブロック担当にお問い合わせください。